

一般社団法人 日本畜産物輸出促進協会 (J-LEC)

(Japan Livestock Products Export Promotion Council)

団体の概要

概要及び設立時期

日本畜産物輸出促進協会は、日本産畜産物のオールジャパンでのプロモーションや輸出に関する情報の収集・提供等を通じ、日本産畜産物の輸出を促進することを目的として平成26年12月に設立。令和5年9月に任意団体から一般社団法人に移行。

目的

国産畜産物の輸出を促進するため、

- ① 輸出促進のため必要な事業
- ② 輸出に関する情報の収集、分析・検討とその結果の会員への提供と助言
- ③ 輸出に関する調査・研究
- ④ 商談会や見本市への参加、広報宣伝等による需要の開拓等を実施する。

代表者等

最高顧問 森山 裕 衆議院議員

会長 井出 道雄

会員

畜産品目別輸出協議会、中央団体等 **全13会員**※

※令和5年11月30日時点

牛肉輸出協議会 (全88会員)

豚肉輸出協議会 (全23会員)

鶏肉輸出協議会 (全37会員)

鶏卵輸出協議会 (全63会員)

牛乳乳製品輸出協議会 (全10会員)

食肉加工品輸出協議会 (全36会員)

伊藤ハム米久HD (株)、エスフーズ (株)、スターゼン(株)、日本ハム(株)、(株)ミートコンパニオン、JA全農インターナショナル(株)、全国農業協同組合連合会、(公社)日本食肉生産技術開発センター、(公社)日本食肉格付協会、ブランドおおいた輸出促進協議会畜産部会、全国肉牛事業協同組合、(公社)中央畜産会、(公社)日本食肉協議会、(一社)日本食肉加工協会、(公社)日本食肉市場卸売協会 等

中央団体等：

- (一社) 家畜改良事業団、(公社) 中央畜産会、(公社) 日本食肉格付協会、(公社) 日本食肉協議会、全国農業協同組合連合会、地方競馬全国協会、(独) 農畜産業振興機構

■ 主な取組

海外における販路開拓活動

- 国際展示会への出展や試食会の実施等によるプロモーションの実施、産地と現地バイヤーとの商談の場の提供



連日のにぎわいを見せたフランスでの展示会におけるプロモーション、試食会の様子 (令和4年10月)

海外におけるジャパンブランドの確立に向けた取組

- 日本産畜産物の識別を容易にする統一マークによるPRや日本産畜産物の魅力、知識普及のセミナー実施等による日本産畜産物のブランドの確立・普及



日本産畜産物の識別を容易にする統一マーク

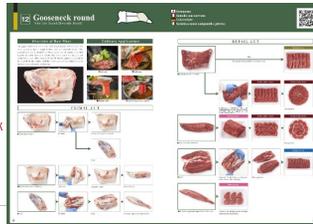
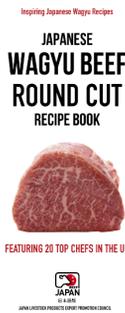
和牛の魅力と正しい知識を普及するセミナーの様子 (令和5年2月)

輸出に関する課題解決に向けた取組

- 需要の裾野の拡大や多様な部位の輸出に向けたカッティング講座の実施、外国人シェフを用いたレシピ集の作成、多言語のカッティングガイドの提供

輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査

- 輸出先国における日本産畜産物や競合品の価格等の流通実態の調査、消費者の嗜好のアンケート調査等の実施



ドバイで好評を博したWAGYU KIMONO BUTCHER-渡邊講師によるカッティング講座 (令和5年2月)

外国人シェフによるレシピ集、多言語のカッティングガイド

フランスの精肉店の高級牛肉ショーケース

■ その他の取組

- 各品目協議会（牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、牛乳乳製品、食肉加工品）の連携、情報交換の場の設定、取組の確認・検証
- 国内における地域の輸出相談窓口の設置、パンフレット等による生産者に対する輸出に関する理解醸成 等